

しをい議会だより

ぎかいのひろば

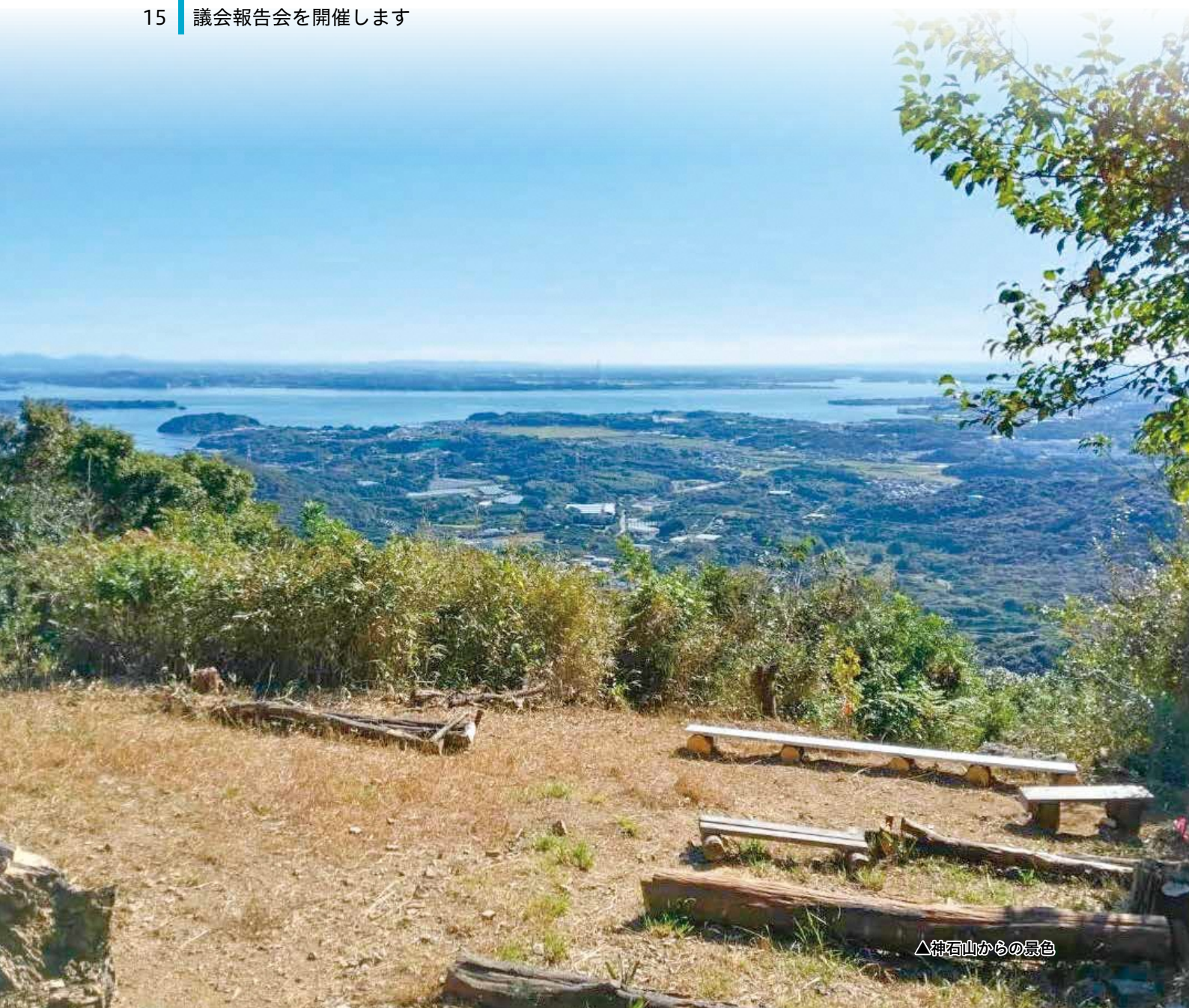
No. 209 6月定例会

令和6年7月31日発行

特集

湖西連峰ハイキングコース
開発委員会との座談会

- 4 6月定例会ではこんなことが決まりました
- 6 そこが聞きたい！！一般質問
- 12 委員会の活動を報告します
- 15 議会報告会を開催します



△神石山からの景色

湖西連峰ハイキングコース開発委員会 との座談会



団体の紹介

湖西連峰ハイキングコース開発委員会は、昭和38年結成。梅田自治会など地元の自治会をはじめ、湖西フロンティア倶楽部や、周辺の関係団体にご協力いただき、ここまで運営してきました。湖西連峰ハイキングコース内の整備、山開きの開催などを行い、より魅力のあるスポットとなるよう努めています。

最近の登山ブームでメディアなどから注目されることも増え、より賑わいをみせているスポットの一つであるため、貴重な観光資源を守っていきたいと思っています。

活動の内容と活動頻度は？

梅田親水公園のトイレ清掃は毎週日曜日、梅田公園のトイレ清掃は隔週で自治会のボランティア、地元団体、子ども会などと協力して行っています。他にも、登山口周辺の草刈りやハイキングコースの草刈り・倒木の処理を行っています。また、山開きのイベントも行っています。



うれしかったこと、良かったことは？

仏岩付近を整備していた時に、チェーンソーを使って木の伐採をした所、切った木の間から富士山が見える様は感激しました。

ゴミのポイ捨てはありませんか？

登山者のマナーが良く、草刈りに行ってもゴミは落ちていませんし、すれ違うとあいさつをしてくれてとても気持ちがいいです。



▲湖西連峰から見た富士山

コラム

運が良いと旅する蝶々といわれる「アサギマダラ」にあえるかも♪





困っていることは？

梅田峠まで四駆の車で上がる人がいるため、^{わだち}轍ができて、作業用の軽トラックが上がれなくなり、困っています。

駐車場が狭く、満車になると新池の周辺や農道に駐車する人がいます。

ボランティアで育成している草花や山野草を折って取っていく人もたまにいます。特に「ささゆり」は日本固有種で自生のものはとても貴重です。大切に保護しているので、取らないようにお願いします。

県内外からも多くの方が訪れるのに看板の劣化が激しいため、市にはぜひ新しくしてもらいたいと思います。



湖西連峰のおすすめスポットは？

梅田登山口からは、神石山からの景色がおすすめです。毎日神石山まで登っている方もいます。おちばの里親水公園からは、湖西市全体を見渡せる大知波峠廃寺跡の景色が絶景です。



「あらかん像」について教えてください。

30年ほど前に地元商店街から「湖西連峰にたくさんのお客さんが来ればお店が繁盛するから、何かできないか」という話が出ました。当時の議員の一人が焼き物をやっていたことから作るようになったそうです。岡崎小学校の生徒が「空想の生き物」というテーマで作成しました。最近では劣化して撤去したものもあり、数が減っています。また何かできないかと思っています。



6月定例会ではこんなことが決まりました

6月 定例会

— 会 期 —

6月4日
～
6月19日

人事案件…………… 5件

補正予算の専決処分…………… 1件

補正予算…………… 5件

契約の変更…………… 2件

その他…………… 1件

合計 14件

次のページで
この中から
2つの質問を
紹介します!!

人事案件

人権擁護委員

はら ださち お わか み まゆみ なかの さ ゆ り つつ い そ の こ
原田幸男氏、若見眞弓氏、中野早百合氏、筒井園子氏を引き続き選任すること及び、任期満了となる
いとう たつ お やまもと み つ の り
伊藤達夫氏の後任として、山本光紀氏を選任することに同意した。

賛否が分かれた議案一覧

議案番号・議案名	結果	相曾 桃子	山本 晃子	寺田 悟	山口 裕教	柴田 一雄	加藤 治司	滝本 幸夫	三上 元	福永 桂子	菅沼 淳	土屋 和幸	楠 浩幸	佐原 佳美	竹内 祐子	荻野 利明	馬場 衛	神谷 里枝	二橋 益良
議案第61号 令和6年度湖西市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第62号 令和6年度湖西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願第1号 釣り組合業者の堤防渡しに関する請願	第2項 不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	-	●	●

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(馬場衛)は採決に加わらない。

令和 6 年度湖西市一般会計 補正予算(第 3 号)

いじめ防止対策事業費 13,217 千円

問 事業の目的と内容、達成目標、成果の確認方法、事業の継続性について伺う。

答 「チャット相談アプリ運用業務」と「コンピュータ保守点検業務」に要する経費を計上している。「チャット相談アプリ運用業務」は、こどもがいじめについて匿名でリアルタイムに相談できるツールの運用と、実際に相談を受けて対応するサービスを含む。小学 4 年生から中学 3 年生までの全児童生徒が、学校と家庭どちらの端末でも利用できる相談アプリの導入を検討している。「コンピュータ保守点検業務」は、学校の端末に健康観察ツールとチャット相談アプリをセットアップし、その管理を委託するものである。

令和 6 年度湖西市国民健康保険 事業特別会計補正予算(第 1 号)

一般管理費 9,393 千円

問 資格確認書とはどんな内容のものを発行し、その後のスケジュールを伺う。

答 資格確認書は、既存の保険証発行が終了する 12 月 2 日以降、マイナンバーカードを所持していない方や、所持しているが保険証利用登録をしていない方などに保険証の代わりとして随時、発行する。内容は、記号番号や氏名、生年月日、資格取得年月日などが記載されている。

【本会議での討論】〈議案第 61 号〉

●反対

国が行う新型コロナワクチン健康被害給付に関して、令和 5 年度の当初予算約 3 億 6,000 万円だったものが追加予算約 394 億 1,000 万円と大幅に増額され、合計で約 397 億 7,000 万円と、当初予算の 110 倍に増加した。これほどの健康被害が出て、何の検証もなく、接種事業を継続することに納得いかない。以上の理由から反対する。(山本晃子)

○賛成

質疑で指摘した事業は関心が高い案件であり、審議を行い、答弁を聞いても、説明不足と感じないわけでもない。そういった中で、今後の動向をしっかりと見守っていきたい。今後は議案上程する前により丁寧な説明をお願いすると共に、更なる人材育成、情報共有・連携を図り、議会とともに車の両輪となって市民サービスの向上に努めていただくことを要望し、賛成する。(神谷里枝)

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今回の定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議・議員ごとの映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト
令和6年6月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

動画の配信方法が変わります

動画放映機の故障に伴い、定例会の開催日ごとに動画を配信します。

一般質問の動画は下記二次元コードからご確認ください。

一般質問1日目

- ①柴田一雄 ②佐原佳美
- ③神谷里枝 ④加藤治司
- ⑤楠浩幸 ⑥相曾桃子



一般質問2日目

- ⑦二橋益良 ⑧竹内祐子
- ⑨山口裕教 ⑩荻野利明
- ⑪土屋和幸



一般質問3日目

- ⑫福永桂子 ⑬山本晃子
- ⑭滝本幸夫 ⑮寺田悟
- ⑯三上元



湖西市職員服務規則について



湖西市職員服務規則は平成8年4月に施行され、28年が経過しようとしているが、これまでに条例改正などに伴う軽微な改定はあったが、職員が中心となった改定や変更が無かった。カスタマーハラスメント対策、コンプライアンス推進や職員の働き方などについても変革の時代となってきており、適切に改定や見直しが必要ではないか。



改定と見直しについてはどのように行われているのか。



平成8年の施行以後、関係法令の改正に伴う見直し以外は行っていない。必要に応じて倫理規定やガイドラインを作成し運用しているが、今後、時代に即した見直しや追加すべき項目について他市制度の研究をする。また、近年のハラスメントから職員を守るため、ハラスメント防止に関する条例の制定を検討する。



柴田 一雄 議員

『湖西市災害弔慰金の支給等に関する条例』について

背景 元旦の能登半島地震を機に、公明党静岡県本部防災・減災対策PTは、県内各市町の防災・減災対策の調査を実施した。その結果、同PTより『湖西市災害弔慰金の支給等に関する条例』の中に災害弔慰金及び災害障害見舞金などの支給に関する事項を調査審議する「合議体の設置条項が無い」と指摘された。

PT・・・プロジェクトチームの略

その他の質問…静岡県の「使用済み紙おむつ再資源化」モデル事業への参画について

問 『湖西市災害弔慰金の支給等に関する条例』に「(仮称)支給審査委員会の設置」等の条項を追加する意向は。

答 「湖西市災害弔慰金の支給等に関する条例」において、審議会その他合議制の機関の設置に関する規定はない。しかし、能登半島地震における災害関連死の認定に遅れが生じているなどの報道もあり、審議会などの設置の重要性を感じている。従って、災害死及び災害関連死等の認定にあたり、スピード感を持って適切に対応するため、本年度内に審議会などの設置に関する条項を追加する条例改正を行いたい。



佐原 佳美 議員



神谷 里枝 議員

湖西市における教育方針について

背景 未来を担う子供達をどの様に育むのか新たに着任された教育長の方針を伺う。

問 「チャレンジ教室に通級しながら、いずれ学校に戻ることが大前提」との説明を幾度となく伺ってきたが「学校が子どもに適應する」という新たな発想のもと、民間活力との連携や「校内フリースクール」の設置を図り、本人や家族はもちろん、職員の負担軽減、働き方改革にむけ前向きに取り組んで頂きたいが如何か。

答 不登校児童生徒が近年増加しており大変大きな課題と認識している。不登校の理由が複合的であることから、教員がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、不登校児童生徒や保護者との定期的な連絡を行う。「チャレンジ教室」では指導員3名が一人一人の状況に応じて集団への適応力を育てていく。民間活力との連携や校内フリースクールについては調査研究に取り組む。

その他の質問…防災減災対策について、長寿命化事業の推進について

新居跨線橋に関する要望書への対応について

背景 浜名湖ボートレース企業団は、所有する新居跨線橋を2027年頃までに撤去する方針を明らかにしたが、橋を生活道路として利用する地域住民らは、橋の存続に関する要望書を提出した。道路管理者である湖西市は橋の存廃を判断する目的で、令和6年2月頃バッテリー道路開通に伴い変化が見込まれる新居町市街地での交通量調査を実施した。

問 跨線橋の存廃に関する総合判断と、今後の計画について伺う。

答 新居跨線橋の撤去、存続においての方針は、財政面や交通事情などを検証することが重要である。存続する場合は、道路や橋梁の補修・改修を市が実施する為、財政負担が大幅に増加する。また、撤去する場合には周辺道路へ及ぼす影響が懸念されるため、交通需要の変化を令和6年7月頃までに整理し、秋頃には説明会を実施する予定である。市としては、総合的に判断し、撤去する方向である。



加藤 治司 議員

湖西市の産業政策について

背景

令和6年4月の「人口戦略会議」で、全国の市区町村の4割以上が消滅の可能性があると報告された。湖西市は若年女性の減少率が40.8%と高く、特に第2次産業に偏重した業構造が若年女性の雇用には不利である。サービス産業の創出など課題を抽出し、若年女性の雇用創出が必要である。

問

湖西市の自然・歴史資源を活用し、体験型観光や公共施設で営利活動を可能とする条例改正の考えはないか。

答

湖西市の観光資源を活用することは非常に重要であると考えている。しかし、公共施設の活用については、その施設が設立された目的や周辺環境への影響、既存の規制などを十分に考慮する必要がある。そのため、各施設の特性や条件に応じて、ケースバイケースで柔軟に対応していくことが求められる。観光資源の活用を推進しつつも、適切な対応を行うことで地域の発展を目指す。



楠 浩幸 議員

同報無線について

背景

2024年3月11日の夜間防災訓練時、2回目のサイレンが鳴ったら避難場所へ行く予定であった。定刻になってもサイレンが鳴らず、訓練参加者からは「訓練で不具合なんて大丈夫か」「本当に災害が起きていたらサイレンが鳴らないのではないかな」など不安の声があった。

問

3月11日に行われた夜間防災訓練時にサイレンが鳴らなかった不具合の原因と再発防止策について伺う。

答

国から発信される情報を受信する「アラート受信機と同報無線放送機器を結ぶケーブルの接触不良が原因で、同報無線放送機器がデータを受信できなかった。ケーブルの接続状況の確認は、専門的な技術が必要であり、職員では実施できない。再発防止策のため、年1回の保守業者による定期点検、年4回の国が行う試験放送、年3回の防災訓練での訓練放送の際に動作確認を行う現状体制について再確認した。

その他の質問…ペット防災について

相曾 桃子 議員

市内消火栓の維持管理について

背景

南上の原自主防災会では、5月18日、区内全域74ヶ所の消火栓の点検をおこなった。地上式の消火栓では、ハンドルの開閉ができない物が多くあり、困難だった。地下式消火栓のマンホール蓋の開閉が困難で作業が危険な状態であった。早急に市内全域の消火栓について点検管理を行う必要性と管理状態の確認が求められる。

問

地域一体としての防災意識向上のため今後の対策と改善に向けた取り組みは。

答

開閉が困難な地上式消火栓を抽出し、優先的に梃子パイプを配置し、将来的には、市内全域に配置する。地下式消火栓のマンホール蓋の改善には、「マンホール蓋の取り扱い方法」を表示し、自主防災組織や地域住民に対して説明会、ウェブ、SNSなどで広報する予定である。消防署が年1回行っている点検と製造メーカーメンテナンス業務と消防団による定期的点検ができる体制を構築していく。



二橋 益良 議員

その他の質問…次期市長の市政担当について

入出地域振興策について

背景 昭和43年に入出に火葬場が建設された。その後、建て替えについて入出自治会から市へ要望を提出するなど交渉を繰り返したが、令和2年に耐震性の問題などから現在の集落センターと同規模を条件として「市は補助金と助成金を負担して、令和6年度以降に建て替える。」との覚書を交換した。令和6年3月末で市営火葬場が廃止されたが、入出地区の要望について確認したい。

問 今後のスケジュールを伺う。

答 令和2年度に結んだ覚書の内容の修正が必要と考える。書面などにて入出地区の総意として要望内容をまとめて頂き、当時の趣旨や調整内容に照らし合わせて支援内容を検討する。地域振興策の要望から16年、覚書締結から4年が経過することから、予算措置の必要性や支援内容の検討が必要になるが、当時の協議内容や約束を踏まえて、地域に寄り添い実施していく。



竹内 祐子 議員

その他の質問…教育行政について

移住定住促進による人口減少対策について



山口 裕教 議員

背景 湖西市は隣接の浜松市から約8,400人、豊橋市から約6,400人が通勤している。この特徴を活かし、「働くまちから働いて暮らすまち」に生まれ変われば、昼夜間人口差の解消となり、人口減少対策や通勤渋滞対策に繋がり、小・中学校の生徒数減少の防止ともなる。

問 住宅展示場や企業説明会等での移住定住のPR活動は、誰がどのような方法で実施し効果を把握し、問題点を改善に結び付けているのか伺う。

答 担当職員が中心となり、住宅展示場や企業説明会のほか、首都圏や中京圏で開催の移住定住イベント等でPR活動を令和5年度は8回実施した。豊橋でのイベントでは定住促進奨励金制度を知らない方が84%という結果であり、制度の浸透が課題である。移住定住プロモーション戦略に基づき潜在的な移住検討者をターゲットにSNSなども活用し、PR活動の幅を広げ改善に繋がりたいと考える。

国民健康保険におけるマイナ保険証の使用について

背景 令和6年12月に、紙の保険証が廃止され、マイナンバーカードへの一本化が予定されている。紐付けされていない方への周知をどうするのか。また、市民の皆さんは、個人情報をもれることを心配して紐付けしていない。令和7年7月末までに紐付けされていない市民も保険制度として医療を受けられるのか。

問 マイナ保険証への切り替えが出来ていない市民への対応は。

答 市民の皆様には、広報『こさい』やインターネット等を通じて周知していく。令和7年7月末までにマイナンバーカードに紐付けされていない方には資格確認書を発行する。その資格確認書を医療機関に示すことで今まで通り医療を受けることが出来る。



荻野 利明 議員

空き家対策について

背景 対策には、湖西市のみならず全国的な問題であることは誰でもが承知していることである。安全・安心・街の賑わいを維持するためには必要な事だと考える。市として令和6年度から新たに取り組むとの説明があったので伺いたい。

問 空き家売る・貸す・解体して売る貸す等方法あると思うが、その中にお試し制度を取り入れていただきたいがいかか。

答 お試しの入居期間を設け、移住希望者が空き家となっていた中古住宅を購入することや、空き家所有者が面識のない人に土地や建物を売る貸すことの心配を無くすことに配慮していく。また、所有者・購入したい人が市外に在住している場合が多いことが予想されることからオンライン等情報発信にも取り組んでいく。



土屋 和幸 議員

太陽光発電設備に関する湖西市の取り組みについて

背景 湖西市が太陽光発電を主力とするカーボンニュートラルの推進に力を入れるなか、環境の悪化や自然災害時の対応への不安が増している。実際、増加するパネル設置に関する様々な問題に効果的な手段を取る必要がある。無計画な私有地へのパネル設置の拡大も好ましくない。現状の問題に対して地域住民の住環境を守るために、実効性のある条例改正が必要と考える。

問 メガソーラーの火災が全国で起きているが、備えは大丈夫か。また、鎮火には通常の火災よりも時間がかかるようだが、消防はそのような事態にどう対応できるか。

答 総務消防庁「電気施設等における消防活動等留意事項」の内容を重視し、人命救助、延焼阻止を最優先とした活動方針のもと、安全管理を徹底し、現場の状況に応じた消防活動を行う。設備への放水は、感電の危険回避のため、噴霧注水の消化方法をとるので、通常火災より鎮火までに時間を要す。



福永 桂子 議員

LGBT 理解増進法に関する湖西市の認識と対応について

背景 静岡県内の小学校で女装パフォーマーを招き、波紋を呼んだ。海外では、自分の性に違和感を持った子ども達が薬物投与や手術を行い、大きな社会問題となり、反LGBTQ法案が急増している。これらを踏まえ湖西市でのLGBT理解増進法の取り組みを確認する。

問 湖西市立図書館に配架されているLGBT関連の本は約50種類70冊もあるが、誰によって、どのような方法で選定されたのか。

答 図書館職員が湖西市立図書館資料収集基準に則り、毎週情報提供される新刊リストの中から図書を選択し、月2回行われる選書会議において、類似図書の所蔵状況、公益社団法人日本図書館協会や公益財団法人図書館振興財団の推奨度合いなどを参考にして審査し、選定している。

その他の質問…湖西市立地適正化計画を踏まえた学校再編への取組について



山本 晃子 議員

ごみ出しルールの問題点について

背景 令和6年4月1日よりごみ出しルールが変更され約2か月が経過し、利便性が向上された一方でルール違反や違法行為が目につく。担当の部署だけではなく、市役所内や回収に携わっている現場の方々、自治会、町内会から意見や対処方法を聞き実情に合ったごみ出しと回収を実施していただきたい。

問 就労などで在住する外国人に対するルールの周知徹底が十分ではないと感じるが、どのような対策を実施しているのか。

答 ごみカレンダーやごみ分別アプリ「さんあ〜る」では、日本語のほか、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語の4か国語を用意している。ここ数年で、ベトナム語、インドネシア語の需要も高まっていることから、この2か国語を追加できるよう検討を進めている。また、ごみステーションの貼紙についても、自治会と相談しながら必要に応じた言語に対応している。



滝本 幸夫 議員



寺田 悟 議員

老人クラブについて

背景 超高齢化社会を迎え、生きがいとやりがいを持って充実した老後を送るためには、短時間労働、社会参加、ボランティアなどの地域貢献活動が心身の健康維持に欠かせない。老後を豊かに暮らす「老活」が重要である。そこで、注目すべきは長年地域に根差した活動をしてきた「老人クラブ」の存在である。

問 「こさい高齢者プラン第9期計画」における今後の老人クラブの存在意義を伺う。

答 老人クラブは、活動を通じて健康増進や予防対策の関心を高め、レクリエーションやスポーツを楽しむ仲間づくりをし、地域で支え合う基盤を作り上げてきた。今後の超高齢化社会を見据え、市も老人クラブ連合会や単位老人クラブとの連携を強化しながら、共に福祉社会形成に向かって進んでいくことが大切である。老人クラブは豊かな地域社会づくりに必要不可欠な存在であり、その存在意義は今後さらに大きくなる。

その他の質問…小中学生の登下校時における熱中症対策について

日本の食料安全保障と学校給食

背景 日本は軍事と外交ではアメリカの言いなりであるが、食糧においても同様で、アメリカの余剰農産物の捌け口にされている。日本の食糧自給率は38%とされているが飼料、肥料、種まで加えると9.2%でしかないと計算する学者もいる深刻な自給率である。

問 その改善の突破口は学校給食にある。湖西市の小学校のご飯の比率は日本平均と比べてどの位置にあり、比率を上げる意思はあるのか。

答 文部科学省の「学校給食実施状況等調査」によると、米飯給食の実施状況は、全国平均が週3.5回、県平均が週3.3回である。鷺津小学校の場合、週平均では3.1回実施している。全国および県平均をやや下回っている状況だが、国が推進する週3日以上実施するという目標は達成している。ご飯の比率を上げる意思はあるが、その時期は3年後の給食センターの稼働する時からにしたい。



三上 元 議員

その他の質問…能登半島地震と台湾東部地震に学ぶ市の災害対策について

委員会の活動を報告します

● 総務経済委員会(行政視察)

と き
場 所

令和6年4月26日(焼津市・島田市)
令和6年5月17日(常滑市・高浜市)

内 容 新庁舎建設について

令和11年度供用開始予定である湖西市新庁舎建設に向けて、新庁舎を建設した自治体へ現地視察を行い、新庁舎建設担当及び議会事務局から説明を受けた。窓口の集約化やバリアフリートイレの設置など誰でも利用しやすい庁舎や必要最低限に費用を抑えたコンパクトな庁舎など様々な庁舎を拝見できた。当視察で得た情報を基に「行かなくてもいい」けど「行きたい」場所となるよう当局とともに研究していく。



▲ 島田市議場



▲ 常滑市議場



▲ 焼津市議場



▲ 高浜市議場

● 福祉教育委員会

と き

令和6年5月13日

内 容

ぴよぴよクラブの視察

場 所

おかさきこども園

子育て支援の場の現状と行政課題の調査をするため、母子交流や育児の悩み相談の場として開かれている「ぴよぴよクラブ(おかさきこども園)」の視察を行った。利用者(保護者)や支援側(保育士)の皆さんとの意見交換により、医療的ケア児の保育施設などへの受入の現状と課題のほか、親への食育の必要性、経済的支援など行政に求められている課題を把握した。今後も市の子育て支援の取り組みがさらに充実されていくよう、調査研究を進めていく。



● 建設環境委員会

と き 令和6年5月10日

内 容 事業進捗状況の現地確認

場 所 市内5カ所

5月10日に行われた建設環境委員会の勉強会にて、鷺津跨線人道橋、富士見橋、表鷺津湖岸3号公園、鷺津駅谷上線および浜名湖西岸地区の区画整理（都市計画道路大倉戸茶屋松線を含む）の事業進捗状況の確認のため、現地視察を行い、職員から説明を受けた。いずれの場所も現在進行形で進捗している事業のため、建設環境委員会として引き続き注視していく。



▲鷺津駅谷上線



▲鷺津跨線人道橋

湖西市議会の取り組みが

『地方議会が進める主権者教育事例集』に 掲載されました！

令和3年度に湖西市制50周年記念事業として行った「高校生議会」について、三議長会が令和6年6月に発行した『地方議会が進める主権者教育事例集』に掲載されました。市内高校の生徒との意見交換会から、請願の提出を行った事例は全国的にも少なく、令和5年度には、「マニフェスト大賞」で東海エリア選抜にも選ばれました。現在も広聴特別委員会が高校生との意見交換会を実施しています。

三議長会：全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会のこと

～これからの議会の在り方を考える～

湖西市商工会と 4月25日 意見交換を行いました

実施の背景

● 立候補者の推移

議員定数18人に対し立候補は「定数+1～2人」で推移

選挙年度	H27	R1	R5
立候補者数	19	20	19

議員の担い手を
増やすためには
どうしたら？

次期選挙では
「無投票・定員割れ」が危惧される

● なり手不足の要因(議員研修より)

- ・ 議会に関心がない
- ・ 議会の理解や信頼が十分に得られていない
- ・ 現役世代には職業の選択肢に入らない など

課題



原因

- ・ 議会の周知不足
- ・ 市民との接点不足
- ・ 報酬額が低い

実施の目的

- 議会を知って
関心を持ってもらう
- 湖西で働く現役世代の
声を聴く
- 議会自らがなり手不足の
危機感を持ち、今後の
対策の参考とする

議場にて議会の活動を紹介した後、議会の在り方や市の課題などについて様々な意見交換を行いました。

議会活動推進特別委員会(議員6名)と30～50代の商工会女性部・青年部の皆様15名が参加しました。

議員のなり手不足や 議会に対する主な意見

- 職業として不安定
(今の報酬額では生活ができない)
- 議員のやりがい、
活動の見える化が必要
- 議会、議員がどんな成果を出せて
いるのか分からない

など



今後も、市内の他の団体とも引き続き意見交換をしていきます。

議会報告会を開催します

市民が主役で、活発な議論をする、見える議会を目指して議会報告会を開催します。

地域の課題など、参加者と議員との意見交換を中心に行いますので、ぜひご参加いただき、ご意見・ご要望をお聞かせください。

なお、感染症の流行などにより開催中止とさせていただきます場合がございます。



〈会場、日程〉

会 場	日 程
太田公民館	10月30日(水)
梅田コミュニティセンター	
宮本集落センター	
南上の原きずな館	11月9日(土)
表鷲津多目的ホール	
新居地域センター（視聴覚室）	

〈開催時間〉

- 令和6年10月30日(水)
19時00分から20時30分まで(受付は18時30分から)
- 令和6年11月9日(土)
10時00分から11時30分まで(受付は9時30分から)

〈その他〉

予約申込は不要です。また、なるべく多くの市民の方と意見交換できるよう、複数会場へのご参加はご遠慮いただきますようご協力お願いいたします。

対象地域の指定はありませんので、当日最寄りの会場へお越しください。

ぼうちよう 議会の傍聴、インターネット中継

実際の議会を議場で見ることができます。詳しくは市議会のウェブサイトをご覧ください。傍聴を希望される方は、当日、議会事務局までお越しください。

また、本会議の映像を YouTube で配信しています。こちらからご覧いただけます。

議会の
傍聴



湖西市議会
インターネット中継



\ 傍聴のアンケートを始めました！ /

6月定例会は47名の方が傍聴されました。
アンケートに回答いただいた方の約4割は
「今後も傍聴したい」と回答いただきました。

... 市議会からのお知らせ ...

議会だよりのアンケートにご協力ください。



「ぎかいのひろば」を
スマホでも！

マチイロ を使えば、

「ぎかいのひろば」をスマートフォンで
読むことができます。
(※別途通信料がかかります。)



利用
方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



編集：広報特別委員会(◎は委員長、○は副委員長)

◎加藤 治司 ○相曾 桃子 山本 晃子
寺田 悟 山口 裕教 滝本 幸夫

9 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 10:00～ 本会議第1日	4	5	6	7
8	9	10	11 10:00～ 本会議第2日 (一般質問)	12 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	13 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	14
15	16	17	18 10:00～ 本会議第5日	19 9:30～ 決算特別 委員会	20 9:30～ 決算特別 委員会	21
22	23	24 9:30～ 決算特別 委員会	25 10:00～ 総務経済 委員会	26 10:00～ 福祉教育 委員会	27 10:00～ 建設環境 委員会	28
29	30	10/1	2	3	4	5
6	7 10:00～ 本会議第6日	8	9	10	11	12

予定が変わることもありますので、最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

ぎかいのひろば

No. 209

令和6年7月31日発行

次回は
令和6年10月31日 発行予定です

発行／湖西市議会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

